

俳句と私－俳句との出会いとアカシア俳句会の今後

戸堂博之（アカシア俳句会 世話人会代表）

無理せずにテニス一筋を貫いてきた私が、「アカシア俳句会」創立総会で、予期せぬことに世話人会代表を務めることになりました。

今まで、高石市庭球連盟、全国歯科医師テニス大会や、浜寺テニスクラブの創立に当初より関わってきましたが、お門違いの大役を仰せつかり、本人はもとより、周りの友人が驚くやら笑うやら。

テニス関係の組織で、何が困ったかと言いますと、初心者や C 級の意見が分からなかったことです。

そんなことで、この度は初心者の代表として参画しました。技術的には超 A 級の方々から、私の如き C 級まで玉石混合。いざとなれば意見の違いもあって運営の難しさもあります。

幸いにも、主宰に選ばれた前田秀一さんの手腕は素晴らしく、難題を解決して、立派なブログをも立ち上げてくださいました。あとは本多通博さん宛に投句して、「金剛俳句会」で中野陽典さんがなされていた 방식을、踏襲するところまで、漕ぎ着けつつあるところです。

本多通博さんとは 40 年以上のテニスの付き合いで、この 20 年程、略歴に紹介されていますように、テニス協会の重鎮でありながら、俳句の道を進んでこられました。

中野陽典さんが体調を崩されたときに、パソコンもできて俳句に精通した本多さんを、紹介しましたのが縁で、ポスト「金剛俳句会」のことをお願いすることになりました。

私が俳句に興味を持ち出したきっかけは、故小川誠二郎さんに全国高校庭球大会発祥地記念碑(浜寺公園)建立の際、碑文を担当してもらったことからです。

そして、ほぼ同じ頃、テニスの本多さんが俳句に凝っていて、NHK の俳句指導者のもとで研鑽、自作俳句集「雲の峰」を上梓され、郵送されてきたことには驚きました。

そんなことを、バスツアーに参加された中野陽典さんに話しますと「君も始めたら！」との言葉をきっかけに、私の俳句史が始まりました。

「金剛俳句会」に初めて出した句は、中野さんに「季語がありません！」と指摘され、そのうちに、「君のは何かおかしい」との評価や、テニスのことを詠みなさいとの助言を受けて、少しずつ俳句が分りかけてきたところです。

年頃になった昨今、本多さんとはテニスはできませんが、俳句は子弟関係にあります。拙句を本多さんに添削をお願いしますと、見事な美しい句になるときや、全然違う句意になったりいろいろです。押し並べて、難解な言葉になって返ってくるものですから、辞書と首っ引きです。

例えば、雷は霹靂神(はたたがみ)です。新漢語林では、「霹も靂も雷を表す」です。「晴天の霹靂」は、急に雷が起こることから、突然の変動や、突然の大事件と初めて理解できました。蛇足ながら、英語で Thunder は雷鳴で、Lighting が日本人の云う雷のようです。我が家にホームステイをした英人がそのように言っていました。

11 月 23 日付けの本多さんからの「ひと休み」名句鑑賞の最後に、本多作「明け初める行き合いの空 茅渚の海」があります。「行き合いの空」＝「夏秋の暑気・涼気の行き合う空」(広辞苑)とありますが、文字だけでは想像できません。Google で検索しますと遠くに夏の入道雲、頭上は天高く薄雲の写真を見つけて、よく理解出来ました。このように、少しずつ知識を得て嬉しい限りです。

三国丘テニス部でも、パソコンを多用して有名選手のフォームを解説していますので、有難いことにこの歳でも、なんとかコーチを務まります。

校是「文武両道、自主自律、切磋琢磨」を胸に、講道館創始者、嘉納治五郎の「精力善用、自他共栄」をモットーに、今までの中野陽典さんのご苦勞に感謝して「アカシア俳句会」を運営して参りますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。